

## 「依存は、恋愛に似て非なる物？いや、恋愛そのもの？」

聴講生 原 智代

熊谷先生 ありがとうございます。

難しいことを、あんなにも耳に心地よく、かつ、あっという間に話してくださる方は  
…………時間が短く感じました。

お話を聞き始めて、頭について離れないことがありました。

先生は、恋愛について話しているのではないだろうか？と。

依存の矢印の本数と太さの反比例の話で、確信に変わってしまい、それからずっと脳内変換されて脳の中にしみこんでいきました。

一人の人とがっつき付き合っている時は、他の事が目に入らない状態。その人が言うがまま。もう、あなた無しでは生きてゆけない。いなくなったら私はもうだめ。全てがその人を中心に自分の生活が決まっていく状態。

一方、広く浅く軽い関係で何人もと付き合うというより、仲の良い友人間関係、恋人未満の人が沢山いたり、アッシー・メッシーが沢山いれば、今日はこっちがダメでも、そっちがあるさ状態。

どちらが良いかは、心理状態や自分の立ち位置により日々変わってゆくかもしれない。うまく回っている時は何の問題もなく、周りからはうらやましい関係かもしれない。

そんなことを考えていました。

ちょうど昨日、女友達に「どうして私には彼氏ができないのか？」と相談をしていたところだったので、はまってしまいました。

友人は「なぜできないのか？ではなく自分は相手に何を求めるのか？もしくは、どんな状態の時に一緒にいたいのか？を自分の中で考えて、周りの人にこんな人と付き合いたいと明確に伝えると、紹介してくれるはずである。」と言いました。

自分を相手に合わせて変えるのではなく、自分が心地よい状態をきちんと理解したうえで、そのことに対して求めたらよいのだと伝えてくれたのです。

周囲からは見えない私のニーズを見えやすくする。そうでないと紹介されてもピンと来ないことになりかねない。「何かが違う、付き合えない」と断るにしても、何が違うのか伝えられなかったら紹介してくれた人との関係も壊しかねない。

そして、付き合った暁には愛情表現も使う言葉も習慣も全て自分とは同じ人なんていない。すぐには、あうんの呼吸で動くなんてできるはずがない。その人は違う個性で、生まれ育った環境も教育ももしかしたら国も違えば風習も全く違うかもしれない。

それは、相手との関係において起こること。自分が悪いわけでも相手が悪いわけでもないのだから、すれ違いが起こって当たり前。ドラえもんの不思議な道具があれば、自動変換できる何かがあれば、気にならなくなることもかもしれない…その研究が、ソーシャルマジョリティ研究なのかしらとも考えていました。脳内変換を、し過ぎました。

また、自閉スペクトラム症の方の知覚体験シュミレーターの見え方、音の聞こえは、私が片頭痛の発作を起こしたときの状態ととても似ていました。周りの方は、全く気付きませんが、目の前がいやに眩しくキラキラして目が開けていられず、光の半円が見え、周りの音のトーンが甲高くとても耳障りになり吐き気をもよおします。その際に眠れば30分ほどで治まるのですが、仕事中や外出中でそれができないときは長引き頭痛が始まります。外出中に起こり周囲にうまく説明できない（辛すぎて話せない）時など、友人から、何故、人の話を聞かないのかと怒られた経験もあります。

年に数回の発作ですら辛いのに、自閉スペクトラム症の方の具合が悪い状態でそのようなことが起こるのは、私以上に辛いであろうと思われます。

物事を正しく理解するためには、正しく見つめること。きちんと整理してそれに対して周囲が対応してゆけば、お互いの歩む道が見つかることが、とても理解できました。やはり、恋愛論でしょうか？

今日は、貴重な講義をありがとうございました。

—————\*★\*—————\*★\*—————

原 智代 様 （CC ゆき 様）

6月16日の乃木坂スクールで講義をさせていただいた、熊谷晋一郎です。

早々にレポートをお送りいただき、ありがとうございました。

早速、拝読させていただきました。

講義内容を、恋愛のメタファーで再解釈されており、

非常に興味深い内容でした。

仕事から、思春期の性や恋愛の悩み相談にのることも多いので、

大いに共感いたしました。

すてきなレポートを読ませていただいたお礼として、

ささやかなものですが、最近書いた文章

「中高生からのライフ&セックスサバイバルガイド～エッチについて、自由について」  
をお送りいたします。御笑覧いただけたら幸いです。